

姫路市立豊富小中学校 生徒の感想
兵庫であった戦争や今も行われているウクライナ侵攻などの話を聞いて、もう二度と戦争を起こさないことや、戦争のことを後世につなげるようになりたいし、平和な今を続けて行きたいと思った。
今回の授業で、戦争の悲惨さや戦争の起こすことそして今現在にウクライナ進行などのことについて勉強することができました。
姫路空襲での遺産や身近な、戦争が本当に合ったということが見てわかるものが残されていることがわかりました。身近な場所なのでまた見に行ってみたいと思いました。また姫路空襲では多くの人が亡くなった事がわかり大切なことなので自分からも後世伝えていきたいです。
まずは、戦争のことをもっと知っていくことが大切だと思いました。被爆体験をした人が苦しい思いをしながらも、戦争の悲惨さや平和の大切さを訴えてきてくれた人の思いを受け継いで、自分の学んだことを様々な人に伝えていくことが自分たちにできることだと思います。戦争は怖いものだけれど、私達が背を向けてはならないことだと思います。戦争を知らないからこそ、平和や自由の大切さを伝えられるのではないかと思います。
神戸新聞の方に来てもらい戦争の話を聞いて、自分が住んでいるところの近くで戦争が起きていたということを知り、いつもは自分のところではないから自分のところを安全かなと思っていたけれど、戦争が近くで起こったと聞いて戦争はどこでいつ起こるか分からない恐ろしいことだと改めて分かりました。戦争は悪くもない人が何人も亡くなってしまう争いだから起こってはいけないことだと思います。今、ウクライナとロシアが戦争をしていることにまだやっているんだとテレビなどで見たときは思っていたけれど今日の話で恐ろしいことが起こっていると分かりました。私は、戦争のことを簡単に考えすぎていたと思ったのもっとよく考えたいと思いました。今日のことを家族などに話したいと思いました。
今日話を聞いて、戦争をしないように話していくことが大切だと思いました。新聞の記事から戦争の記事がなくなったらいいなと思いました。
戦争からお城を守るために網があったことは知らなかった。どんどん戦争が記憶に残っている本人がいなくなってしまうと私達が次の世代に伝えるのに自分の考えを混ぜたりして、違った情報を広げないようにして、戦争がどんなものかを伝えられる用にならないといけないと思いました。家で過ごしている間にも今世界では争いが起こっている。そのことを忘れてはいけない。戦争の跡をどこまで残すのかを考えるのが大変だと思いました。
播磨の戦争について話をいただきました。とてもつらい内容でしたがこれをこれからもどんどん繋いでいって戦争の辛さ、恐ろしさというものが忘れないようにできたらなと思いました。
今日、新聞記者の方の話を聞き、今おこっているウクライナとロシアの戦争や昔おこった播但線に機銃掃射があったりと話を聞きました。今までは、戦争はこわいと思うだけでしたが、今では、この空襲や戦争でなくなった方が本当に寂しく感じます。自分たちで解決できることはありませんが、これからの子供に伝えていきたいと思う気持ちを大切にしたいと思いました。
この兵庫県という姫路市内でも何百人という人が亡くなられて、播但線にいた何も関係ない人が骨を砕かれてなくなったりしたという話を聞いて、このようなことがあってその人のまだあったかもしれない人生や、そのようなことがあって苦しんだ方々のためにも自分たちが、このことを次の世代に伝え続けたいと行けないと思いました。

色々な戦争の話を聞いて、戦争の怖さがよくわかりました。今ロシアとウクライナが戦争をしているのでその戦争で沢山の人がなくなっているので早く停戦してほしいと思いました。そして一番自分の中で心に残ったのが、戦争を知らない世代が次の世代に戦争のことを繋いで行くことが大事という話です。自分は分かっているけどあとの世代に繋いでいくという考えがなかったので気付かされました。なので僕は前期課程の子などに戦争のことを伝えたいです。

日本の原爆のことだけでも恐ろしかったけどそれだけではなく日本の空爆の被害で列車が血まみれだったりしているのを知って、現在でもウクライナで同じことが起きてるということに恐怖を感じました。しかもウクライナ側は何もしていないのにロシアが戦争を仕掛けてるということもあって、戦争っていうのはどんな戦争であってもただ資源と技術を手に入れたことや、力や権力の拡大をして支配したい性格が悪すぎるっていう言葉じゃ言い表せないくらい愚かな行為だなと思いました。

新聞をあまり読んでいなかったの、全然知らない内容とか、そのことについての細かい説明を聞いて、日本や、外国ではこんな事が起こっていて、今はどうなっているということが知れて、聞いている時はとてもおもしろかったです。もっと日本の歴史・戦争について知っていきたくし、新聞にはどんなことがのってあるかをもう少し理解したいです。

今まで戦争や空襲は他の県他の国のことだと思っていたけれど実際に姫路やその周りの市に行ってみると戦争遺跡と言って実際に空襲や機銃掃射などがあったことがわかる遺跡があるということがわかりました。もう一度戦争について考えるきっかけにもなりました。

実際に神戸新聞の記者の方が来て講話を聞きました。私達は実際に戦争を経験したことがなくて、その時の状況がどれだけ悲惨で悲しかったかはわからないけれど、沢山の方がなくなって、悲しい思いをしていたんだなと思いました。今も残っている戦争の時の遺跡などを見て、自分たちには想像もつかないような跡などの実際の様子を写真で見て、戦争はもう二度としてはいけないなと思いました。今も戦争が続いている地域に住んでいる人たちは自分たちと同じくらいの年齢の人でも苦しんでいるんだなと思いました。平和を守るために、例えばロシアやウクライナの戦争がいち早く終わってくれたらいいなと思いました。

自分たちの住んでいる地域でも空襲があったり身近にある戦争遺跡を画像や新聞踏まえ三好さんからの話を聞いて、もっと戦争に対して耳を傾け多くのことを学んで行きたいと思いました。自分が気にしていないことがこんなにも大切でこれから戦争を体験していない身でも多くの世代につなげていきたいと思いました。戦争の捉え方も前よりもすごく今回お話を聞いて思いました。

今までも戦争は、怖いとわかっていたけど、今日の講話でも改めて思いました。今までの戦争といえ、ウクライナや広島県、長崎県というイメージがあったけど、身近な、兵庫県や姫路にも被害があったことを、しれたので良かったです。

今日、戦争の話を聞いてこのことを自分が大人になった時他の小さい子たちに伝えて行きたいなと思いました。

今は、ロシアとウクライナが戦争をしていて、戦争がなければ生きていたのに戦争を下から亡くなってしまった人がとてもたくさんいることがわかりました。

広島と長崎に落ちた原爆では、とてもたくさんの方がなくなったということがわかりました。

他にも、昔もたくさん戦争があったということがわかりました。

兵庫県はあまり戦争の被害を受けてないと思いこんでいたので今日いい日になった。

播但線のところに慰霊碑だったり戦争のあとが残っていたなんて知りませんでした。そして、空襲を受けたけど姫路城が残ったのはすごいなと思いました。オバマさんが日本に来たり安倍さんがアメリカに行ったり交流することはとても大切だと思いました。今日の話で学んだことをしっかりと活かしていけたらいいなと思いました。

昔の戦争のことやその人の悲しみや苦しみを語ってくれました。自分たちにもたくさんできることはあるのでできることを精一杯やりたいと思いました。

今日の貴重な時間で、昔あった戦争や戦争のときに残ったものなどをたくさん教えてくださったので、自分が知らないことが今日学べたので良かったです。戦争が起こったときに姫路城だけ残ったのがすごいなと思いました。

昔の日本の戦争で起きたことが戦争遺跡として今の日本にも語り継がれている、語り継がれることで戦争の恐ろしさを教えてくれるのでそのことを忘れないようにしようと思いました。

やっぱり戦争のことは忘れてはいけないとても悲慘なものなんだなと改めて思いました。姫路城にフックがあるという話で、前姫路城に行ったときそれを見つけてこれは何なんだろうと思っていたので疑問が解けてよかったと同時にここは空襲で周りが焼き尽くされたときからずっと残っているんだなと少し感動しました。

今日の講話を聞いて、戦争は怖いなと思いました、当時の写真を見て、建物が崩壊したり、空がとっても白かったです。人々はたくさん亡くなっているそうです。私は、「なぜ戦争をするのか。」と思いました。戦争をして何が楽しい。人々の命を奪っていることになる。ということです。中学3年生が、小学6年生に平和にたいしてのことや戦争に関する話をしているそうです。私はこのことをして、とても感動しました。これからもみんなが笑顔でいたいです。そして平和な国が続いてくれたらなと思います。

今日戦争の話聞いて姫路のことやウクライナのことについて知ることができました。戦争を体験した人が少なくなっていってるから自分たちが下の子達に戦争の恐ろしさなどを伝えていけたらいいなと思います。今日改めて戦争の怖さを知ることができて良かったです。

今日は、戦争について、自分のためになるなと思うお話を聞けてとても良かったと思いました。また、身近なところにも、戦争に関する資料館などがあるということもわかったので、また、家族などに行きたいなと思いました。

今日学んだことを、これから活かしたり、後世にも伝えていこうと思います。

姫路でもたくさんの死者が出でいた。近くにも戦争に関するものがたくさんあった。

今日は、神戸新聞社の記者さんの話をきいて、今まで戦争のことにあまり知らなかったけれど、戦争とは、沢山の人の命が亡くなっていて、とても悲しい出来事だった事がわかりました。これからも私達が生きていく社会でもいつ戦争が起こるのかわからないので、戦争のことをもっと知って戦争のことについて学習しておきたいです。

改めて戦争の悲慘さを知りました。いま平和で暮らしていることができてるのは経験したことを次の世代へと伝えてきたからだだと思います。だから今度は自分たちが次の世代へと伝えていくのが役割だと考えました。

姫路で起こった戦争や、今起きているウクライナとロシアの戦争についてわかりました戦争の怖さを改めて感じ、戦争はあってはならないものだなと思いました。今日学んだことを、人に伝えていくようにしていきたいです。

ロシアとウクライナの戦争やお母さんを戦争で亡くした話などが聞けて今後に生かせそうな話がいっぱいあったので良かったです。
今日の講話を聞いて、世界で起こった戦争、起こっている戦争について学びました。昔に身近な場所で様々な戦争、空襲が起こっていることを知り、今でも苦しんでいる人がいて、忘れては行けないと改めて感じました。
今日の学習で、僕が知らなかった事や実際に経験した人の話を聞いて後継者に繋いで行きたいと思った。
戦争や空爆についてお話をしてもらいました。新聞は、悲しいことも書かないといけないと思うのですごくしんどいと思うし、もっと新聞に興味を持ってどんどん戦争と新聞についてしっていきたいと思った。
姫路で起きた戦争の被害が残されていたりすることがわかった。
兵庫県に残る戦争があったあとや自分の家の近くに残るものがあった。戦争の中で生まれる怖さや語り継ぐという大切さがわかった。
新聞記者の方から戦争のことを教わってウクライナのこととかもっと昔の話が聞けて私達の近くにも被害などがあったことなどもしれました。
戦争の恐ろしさや戦争で起こった出来事をつて得手にどこんなことが内容にしたいと思った。
今回の講話では、過去にあった戦争や原爆などから私達ができる事をよく考えました。二度と過去の悲しい出来事がまた起こらないように、世界の平和のために、今世界は何をしようとしているのかを考えながらこれから過ごしていけたら良いと思います。
戦争をしていない今が平和ということがわかった。外国では核兵器を使ったりして、戦争が起こりそうになっているけど、日本では絶対に核兵器を使わず、戦争もせず、平和なままでいたいと思いました。
河川敷の火災で草などが燃えた。ビックリしました。
今回は、戦争について神戸新聞の方から話を伺って、昔、姫路にも空襲があり、何百人もの人たちがなくなったということが分かりました。現在、ロシアとウクライナが戦争をしていて、日本に住んでいる私たちは平和で、戦争はないけど、こうしている間にもロシアやウクライナでは、たくさんの人達が被害を受け、苦しんでいるときいて、胸が苦しくなりました。もっと、戦争のことについて知り、絶対に戦争について忘れないよう、後世に受け継いでいきたいと改めて思いました。
今まで知らなかったこの地域の戦争のことを知ることができてとても勉強になりました。また、現在行われているウクライナのことでも聞いて、自分たちが、これからどんなことを知って行って、未来に向けて対処をしていかないといけないかがわかりました。今日学習したことをきっかけに戦争のことを知って、繰り返さないようにしたいと思いました。
戦争のことを勉強していてまたいろんなことが聞けて初めて知ることもあったのでこれからもいろんな話を聞きたいです。
日本は昔の経験をいかして戦争なんか絶対しないぞっていういしきをもって生きているけど今戦争している国はなんで戦争したいのかがよくわからないなと思った。人がなくなっているのが面白いのかなと不思議に思った。

太平洋戦争といえば原爆のことが一番先に上がってくると思う。でも、実際はほかにもいろいろなことがあった。例えば、姫路市では播但線に機銃掃射された。そのなかには骨を折られたり、頭を銃で貫通させられたりしていた。自分はそんなことを想像するだけでもゾッとした。そんなことを自分も後世に受け継いで行きたいと思う。

ウクライナとロシアの戦争のことでよくニュースでしていたので朝に見る時があったけどよくわからないところとかがあったので、今回の話を聞いてウクライナとロシアの戦争が分かりました。あと姫路に空襲がきて当時どんなかんじだったか、あんま知らなかったけどそういうことも聞けたから良かったと思います。

戦争を語り継ぐ人が少なくなっていると言われるけれど、戦争が起こった事実は、人の言い分だけではなく原爆ドームや戦闘機などの「物」でも戦争の爪痕が残っている。

戦争の時代っていうのを経験したことがなく、戦争のこと自体もあまり知らなくて、今日、お話を聞かせていただいて、自分の知らないところでたくさんの人の命が奪われた現実を知りました。戦争はあってはならないことだと思うし、ロシアとウクライナのように世界中で戦争が起こっているところもまだまだあると思うので、いつか戦争のない、世界中が平和だと言える世の中が来たら良いと思います。

戦争のことを教えてもらって、姫路城が戦争中も壊れずに、残っていたのは知っていて、姫路は、戦争に巻き込まれていないと思っていたので、これから今日聞いたお話を家族に教えて、しっかり覚えていきます。

兵庫県であった戦争や、ウクライナの戦争のことなどを詳しく知ることができて、忘れてはいけない日本の戦争のことなどを語り継いでいきたいと思います。

聞いたことあるな、や聞いたことのない新しい戦争の影響で姫路に起こった悲劇を知ることができてよかったです。この土地にその悲劇を知る人がいなくなることはあってはならないことだと思うので、次の時代にも繋いでいきたいです。

姫路で戦争があったことや、姫路城のこと足っていたけれど姫路で亡くなっているひとがこんなにも多いと思わなかったです。でも新聞記者さんがこんなにこまかく説明してくださってとてもわかりやすくこれから新聞を作る時に活かしていこうと思いました。

これまでの太平洋戦争や姫路空襲のことについてとても知れたし、姫路ではアメリカから何回も空襲を食らっていてとてもつらい日々が続いて、たくさんの人が亡くなってしまった事もわかりました。このことをこれからの世代に伝えていかないといけないし、これを次は起こらないようにしなければいけないと感じました。

昔に起きた戦争のことや今起こってるロシアとウクライナの戦争についてしっかりと理解をすることができたのでそれを下の学年にも伝えていけるようにしていきたいです。

第二次世界大戦のことは広島、長崎の原爆投下の印象が大きく、姫路や播磨のひがいについてはあまり知らなかった。白露橋の焼け跡や、最寄り駅である仁豊野駅~香呂駅の間での空襲など、すぐ近くでも被害があったということに驚いた。今までは原爆や都市の空襲しか知らなかったけど、姫路や播磨の被害も調べて実際に行ってみたり、平和資料館などで調べるなどしたい。

最後にスライドでまとめた表で確認したところが音楽も同時に流れていたのすごく悲しい感じに聞こえました。そして、今日教えてくださった方がすごく説明がうまくてスライドの文字を出すタイミングもきれいに整っていてとにかくわかりやすかったです。

また、地震は結構知っている方だけれど今回の地震を詳しく知ることにより怖いものだと感じました。私の家では新聞はとってなくて読むことがあまりありません。(たまにおばあちゃん家から送られてきて見る場合があります。)なので今回みたいな授業があるおかげでこの記事を見ることの可能になるのすごく嬉しいです。私の将来の夢は記者ではないけれど今回のような学習にはとても興味があるので自分で調べて自主学習にもしてみたいと思います！

今日の授業で今もロシアからウクライナへと侵攻が続いていて太平洋戦争などでも日本や日本と戦争をした国はどちらも被害を受けていて戦争はどちらの国も衰退していつてしまうような絶対にしてはいけないもので戦争は起こってほしくないと思うし、おこしてほしくないとも思いました。

今日の新聞記者派遣授業で昔の空襲などで被害があった所を都市のところが多く姫路市も空襲を受けたけれど、姫路城が奇跡的に残っていて良かったと思いました。そしてその空襲の被害があったせいで死者がたくさん出てしまっことが分かったのと今のロシアとウクライナの戦争は日本が桜も咲いてコロナウイルスに掛かる人が減ってきて日本は平和な状況に比べてウクライナは街中が焼け野原で補脳が上がってたりして戦争が最も怖いものだと思ったときだと思いました。

今日は戦争などの話を聞くことができ、今まで戦争については色々学習してきたけど知らない話や新聞の記事を使って話を聞くことができたのでわかりやすかったし、家に帰ってからもう一度読もうと思いました。今の話でウクライナのことなども話していただいてやはり戦争は怖いなと改めて知ることができたし、私達が次の世代に繋いでいかなければいけないと強く思いました。今日はとてもいい話を聞けてよかったと思いました。

戦争が起こって日本や姫路にどんな被害があったかや戦争に関する戦争遺跡がたくさんあると知った。戦争が終わってから日本は戦争の犠牲者や戦争に関係した人たちの祈念式を行って戦争のことを受け繋いで行っている。それから戦争は起こってはいけないこと戦争のことを後世に伝えたいと思った。

今日の学習で改めて戦争は怖いなと思って、戦争はもうしてはいけないと思った。

今日の学習で、戦争の辛さを改めて知り、絶対に起きてわならないということがわかりました。また、たくさんの地域に、戦争の焼け跡や、崩れた跡や色んな所で戦争が起こっていることがわかりました。僕は、こうゆう経験がしたことがないけど、辛さは、わかるので、これからも、起こってほしくないと思いました。とても勉強になりました。

戦争はずっと繰り返されていると、軽い気持ちで考えていたけど、自分が思っているよりも、怖くて、身近に原爆が落とされていて自分が戦争があったときにいたら自分は死んでいるとわかったので、このような事があったことを知らない人たちに伝えていきたいです。

太平洋戦争や、空爆を体験した人は、年々歳を取っていて、戦争の記憶を途切れさすのではなく、今回の講義などを通して自分の知らないことや、知らなければならぬことを教えてもらい、記憶を残すことが大切ということがわかりました。戦争でいつどんな被害が出たのか、戦争に行った人たちや、見送った人、記憶を残そうと思う人が、戦争遺跡や、歌、記憶などを伝えたいという思いで、語り部などの機会に、伝えていっているのだとわかりました。

戦争についてのことを色々教えてもらいそして戦争からは色々な人が死ぬというもう犯してはいけないことだと思いました。
この自分たちが暮らしている兵庫でも大きな被害が戦争でおこったし、今ウクライナとロシアがこの時代に戦争を起こしてしまっているから、昔の経験した人達の気持ちをもっと考えなければいけないし、自分たちをもっと戦争について深く考えるというのが大切だなと思った。
戦争や平和について知りました。兵庫県の空襲での被害や原爆、東西戦を知って戦争はやっぱり怖いし、繰り返してはいけないことだと改めて感じました。戦争を繰り返さないためには戦争を知ることや、正しいこと、詳しいことを伝えていき、戦争を知らない人をなくすことが必要だと思いました。私は戦争を実際に体験していません。その分、戦争について知ろうとしたいと思いました。これからもっと平和について考えていきたいです。
戦争で姫路にも空襲が来たということが初めて知ったし。どんなにも残酷なことがあったかということがわかりました。
戦争は恐ろしいことだと思うけど私達がこれからどうすればいいか、何ができるのかを考えるようになったきっかけとなるものだからそのような面では大切な経験だったのではないかなと感じました。今日の学習で自分が知らなかった場所などもしれたのでどんどん戦争についての知識を入れてこれからの世代につないでいきたいと思いました。
今日の授業で、姫路に原爆が落ちてきたことが本当に怖かったです。奇跡的に姫路城だけが残されたのが本当に良かったと思いました。私の、おじいちゃんも戦争を体験した人で、まだ小さかったみたいだったけど、本当に生きててよかったなと思いました。二度と、このような戦争が起こらないようにしたいです。
今日、戦争などに関するお話をしていただいて、戦争による被害といえばイメージされたり、話題に出てくるのは広島原爆についてが多いですが、実際はそれだけではなく、姫路でも空襲や機銃掃射などが行われて、たくさん亡くなられた方が居たということにとっても驚きました。自分たちが今住んでいる街でそんなことが実際に起っていたというのは信じ難いですが、これからも平和にしていこうためにはしっかりとその現実を受け止めて、後世に伝えていくことが大切なんだと改めて感じました。そして、まだ世界で見ると戦争は無くなっておらず、平和とは言えない状況が続いています。ウクライナ侵攻などについても私達中学生ができることは限られています。でも、だからといってなにもしないのではなく、戦争に絶対反対という気持ちを持って、この問題に対して関心を持ち続けるということが私達が一番すべきことだと思うので、していこうと思いました。自分たちの身近な問題について触れられた、とても良い経験になったと感じました。
姫路では昔は空襲などがあって色々な被害を受けたことを忘れずに皆に伝えて行きたいです。
今日の授業で、姫路の戦争での播但線のことや橋の焦げ跡等があるとわかって、今まであまり遺跡のことなどを考えて来なかったけど、通ったりするときはしっかりと見たりして、これまでに起こった大変のことをしっかり考え、未来に繋げて、この戦争の記憶が亡くならないようにしていきたいです。
戦争を体験していなくても、今知っている知識などを使って下の人達に伝えていくことが大切だと思いました。そして、今よりもっと自分も戦争について知っていこうと思いました。

戦争の話を聞いて戦争のあとは残しておかないといけないのだと思いました。それに今ウクライナとロシアのことなどもあるのでニュースなどを見ていたほうがいいと思いました。太平洋戦争から77年たってずっと伝えていかないといけないとわかりました。

思っているより、怖いことで普通に生活するというのと、話ができ、悩みがないことがすごいということがわかり、いつ日本も安全じゃなくなるかわからないから、今起こっているウクライナの戦争は、他人事だと思わずに自分ごとだと思って、戦争や内線について考えていきたいと思いました。

今回は新聞記者さんの方からお話をしてもらいました。改めて戦争の恐ろしさがわかりました。戦争は尊い人の命を奪うもの、人の人権の侵害に当たるもの。そんなことをもう二度と繰り返さないように、これからの世代に受け継いでいくことが大切だとわかりました。今はウクライナとロシアが戦争中。私はなぜ、戦争なんかするのだろう、自分はいい思いをしても、傷つく人がある。そんなのは平等でもない。戦争はこの世にあってはならないもの。過ちを繰り返さないために、今何をすべきかを考えて、色々な人に教えていきたい。